

平成27年度 (平成27年10月28日(水)・ホテル グランヴィア和歌山6階) 県更生保護功労者顕彰式典盛大に開催される



平成27年度和歌山県更生保護功労者顕彰式

▲叙勲並びに法務大臣受章者を囲んで式典終了後の記念写真

栄えある受彰者の皆さま おめでとうございます

【和歌山保護司会】

藍綬褒章

松尾 純子 (和歌山東) 平成26年秋
北村 邦夫 (和歌山南) 平成27年春

法務大臣表彰

乾 吉晴 保護司 和歌山東
山田 恒次 保護司 和歌山東
林 吉男 保護司 和歌山西
高松 陽子 保護司 和歌山南
高橋 厚生 保護司 和歌山北

全国保護司連盟理事長表彰

小西 健之 保護司 和歌山東
鈴木 彰 保護司 和歌山東
山裾 まり子 保護司 和歌山東
井本 源士 保護司 和歌山西
武内 優子 保護司 和歌山南
奥田 孝子 (内助功労表彰) //

近畿地方更生保護委員会 委員長表彰

上野 宏行 保護司 和歌山東
池永 昌純 保護司 和歌山東
玉井 良弘 保護司 和歌山東
池田 五十一 保護司 和歌山南
小島 悌二郎 保護司 和歌山南
宮本 二 保護司 和歌山北

近畿地方保護司連盟会長表彰

竹田 茂樹 保護司 和歌山東
林 多恵子 保護司 和歌山東
山本 康夫 保護司 和歌山東
岡田 和夫 保護司 和歌山西
有田 雅一 保護司 和歌山西
新宅 さよ子 保護司 和歌山西
中村 民義 保護司 和歌山西
船所 宏行 保護司 和歌山西

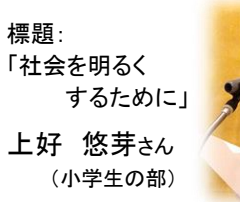
去る10月28日に開催された和歌山県更生保護功労者顕彰式典には表彰者・来賓・一般参加者・スタッフ等合わせて430余名が参加して盛大に挙行されました。

当日、式典に先立ち第65回“社会を明るくする運動”作文コンテストにおいて小学生の部・最優秀賞に輝いた智辯学園和歌山小学校5年生上好 悠芽さんと、中学生の部・最優秀作の和歌山市立伏虎中学校3年田村 大樹さんの「作文朗読」が行なわれ、参加者に大きな感銘を与えました。

作文を朗読する最優秀賞の二人



標題：
「信じて見守る」
田村 大樹さん
(中学校の部)



標題：
「社会を明るく
するために」
上好 悠芽さん
(小学生の部)

中 智子 保護司 和歌山南
西垣内 朋之 保護司 和歌山南
宮所 俊次 保護司 和歌山南
得津 正司 (内助功労) 和歌山西
北野 幸一郎 (内助功労) 和歌山北

和歌山県知事感謝状

上野 俊憲 保護司 和歌山東
大竹 有美 保護司 和歌山西



▲厳肅な雰囲気の中での開式、大勢の来賓をお迎えし式辞を述べる小西会長。

和歌山保護観察所長表彰

北川 徳治	保護司	和歌山東
木田 守	保護司	和歌山西
神前 純造	保護司	和歌山南
嶋本 光子	保護司	和歌山南
吉田 友之	保護司	和歌山南
金田 郁子	保護司	和歌山北
坂本 敏明	保護司	和歌山北
森 泰	保護司	和歌山北

和歌山県保護司会連合会 会長表彰

岩坪 華容子	保護司	和歌山東
沼井 健次	保護司	和歌山東
山崎 秀樹	保護司	和歌山東
河野 了	保護司	和歌山西
南出 博之	保護司	和歌山西
尾崎 方哉	保護司	和歌山南
川端 久晴	保護司	和歌山南
渋谷 静加	保護司	和歌山南
集田 真樹	保護司	和歌山南
辻本 朝治	保護司	和歌山南
福嶋 友美子	保護司	和歌山南
宮本 庄悟	保護司	和歌山南
堂坂 清	保護司	和歌山北

【更生保護女性連盟等】

法務大臣感謝状

山本 実遥 (BBS会員)

日本更生保護女性連盟 会長表彰

中村 照子 更女(和歌山8)

近畿地方更生保護委員会 委員長感謝状

塩崎 光子 更女(和歌山6)
大谷 京平 (BBS会員)

近畿更生保護女性連盟会長表彰

山路 留子	更女(和歌山1)
岩本 八重子	更女(和歌山4)
小栗 志津子	更女(和歌山8)

和歌山県知事感謝状

山東 隆子	更女(和歌山4)
武内 優子	更女(和歌山5)
山根 恵美	更女(和歌山6)

和歌山保護観察所長感謝状

奥野 英子	更女(和歌山1)
西本 玲子	更女(和歌山2)
角田 美千子	更女(和歌山2)
和田 智代	更女(和歌山3)
三宅 真知子	更女(和歌山3)
多計 千恵子	更女(和歌山3)
田中美千代	更女(和歌山4)
田村 和輝子	更女(和歌山5)
加茂 和子	更女(和歌山6)
上谷 武子	更女(和歌山6)

坂本 智恵	更女(和歌山7)
田上 スミ子	更女(和歌山7)
大畑 裕美	更女(和歌山7)
臼井 依子	更女(和歌山7)
小栗 妙子	更女(和歌山8)
源井 保美	更女(和歌山8)
幸前 純代	更女(和歌山9)
水主 美代子	更女(和歌山9)
中嶋 佳代	更女(和歌山9)

和歌山県更生保護女性連盟 会長表彰

立野 千代	更女(和歌山1)
林 千代子	更女(和歌山2)
田村 道子	更女(和歌山2)
酒井 美智子	更女(和歌山3)
岩橋 和代	更女(和歌山3)
一色 紀子	更女(和歌山3)
宮本 美代子	更女(和歌山4)
中 智子	更女(和歌山5)
山中 久枝	更女(和歌山6)
北野 喜代子	更女(和歌山6)
岡崎 範子	更女(和歌山7)
岡崎 心み	更女(和歌山7)
三田 千賀子	更女(和歌山7)
山本 節子	更女(和歌山7)
山田 美智子	更女(和歌山8)
東口 久子	更女(和歌山8)
藤原 朝子	更女(和歌山9)
古森 末子	更女(和歌山9)
矢田 京子	更女(和歌山9)

(敬称略)

以上 保護司55名・更女46名/BBS2名

更生保護法人運営協力者の方々に感謝

法務大臣感謝状

山田 恒次	保護司(和歌山東)
北畑 恵美子	(県更生保護協会)
谷崎 博志	(県更生保護協会)

全国更生保護法人連盟理事長表彰

谷崎 博志	(県更生保護協会)
八幡 建二	(県更生保護協会)

近畿地方更生保護委員会委員長表彰

谷崎 博志	(更生保護法人役職員)
寺下 俊雄	(更生保護法人役職員)

近畿地方更生保護委員会委員長感謝状

玉置 和幸	・ 森下 正紀
田和 千恵子	・ 島田 功

土山 憲一郎	・ 浅井 瑛介
谷為 正太郎	・ 北村 邦夫
株式会社 明光電気	
丸新産業株式会社	
八栄モータース株式会社	
株式会社 山本進重郎商店	
株式会社 紀陽銀行	
株式会社 島精機製作所	
わかやま農業協同組合	
株式会社 岡本設計	
医療法人進正会 寺下病院	
株式会社 電創	

7名の新任保護司が仲間に。共に更生保護活動に汗を流そう

困った事や分からない事があれば、迷わず「更生保護サポートセンター和歌山」にお電話ください。
平日の午前 10 時～午後 4 時まで
TEL：460-9298

平成 27 年 11 月 15 日（月）和歌山保護観察所に於いて、新任保護司の辞令交付と新任保護司研修が実施されました。

今回は、県下で 15 名、和歌山保護司会では 7 名が受講されました。これにより和歌山保護司会の保護司現員数は 208 名、充足率 98.6%となりました。



中尾 眞智子
なかお まちこ
東支部・岡崎校区
研修部会

勉強させて頂くこととなり心から感謝申し上げます。皆様にご指導を仰ぎ、気負うことなくやわらかい気持ちで、日々努力して参ります。



岡本 都
おかもと みやこ
西支部・芦原校区
研修部会

この度、保護司の辞令・研修を受け、本当に私に出来るのか？不安な気持ちで一杯です。先輩の方々にご指導して頂いて頑張ります。



西浦 功造
にしうら こうぞう
西支部・宮北校区
犯罪予防部会

保護司の務めは大変だと聞いておりますが、先輩保護司の皆さま方のサポートを頂きながら頑張りますので、よろしくお願い致します。



筒井 満
つつい みつる
南支部・和歌浦校区
総務部会

保護司は、民間人では荷が重いと思うが、委嘱を受けた限り対象者の気持ちを思いやり、関係機関等と連携し全力で職務を全うしたい。



林 俊行
はやし としゆき
南支部・名草校区
協力組織部会

新任保護司となり、改めてその責任の重さを実感しております。経験豊富な諸先輩方の背中を見ながら、誠心誠意頑張つてまいります。



浅田 喜久男
あさだ きくお
北支部・木本校区
犯罪予防部会

「余生を社会のために」と軽い気持ちで先輩のお誘いを受け、先般の委嘱研修を迎えました。初心貫徹、精一杯、努める覚悟です。



白坂 登志子
しらかさ としこ
北支部・楠見校区
研修部会

支援活動の中で学び得た、共に寄り添う気持ちを忘れず、日々実践していきたいと思っております。よろしくお願い致します。

長い間本当にご苦労さま、11月15日付でお二人の先生が退任されました。

お名前	ふりがな	委嘱年月日	従事年数	支部名
川島 英男	かわしま ひでお	H13. 11. 16	14年	和歌山西
高橋 厚生	たかはし こうせい	H 7. 11. 16	20年	和歌山北

和歌山保護司会・各専門部会総会と新年会のお知らせ

◆日時：平成28年1月18日(月) ◆場所：アバローム紀の国2階・鳳凰の間

●開催時間：各専門部会総会・16:00～／新年会・17:20～19:20 ●会費：5,000円

サポートセンター和歌山の年末・年始の開設予定

◇年内の開設は：平成27年12月25日午前中 ◇新年の開設は：1月6日より通常どおり

※休館中にご用のある方は：奥田 (090-8655-6930) 又は樽井 (090-9698-6822) まで

「二人の先生の体験談」に興味深く聞き入りました！

体験発表者①：東支部 岸裏 廣章 先生（保護観察中の再犯事件について）

体験発表者②：南支部 杉谷 睦生 先生（自分に出来ることを）



写真上：発表する岸裏廣章保護司

写真下：身振り手振りの杉谷睦生保護司

今年の発表者は2名。
たっぷり質疑応答の時間
が確保されました。。

平成27年11月8日（日）
和歌山市中央コミュニティセンター
で保護司体験発表会が開催された。

以前、研修部が実施した「アンケート」で『参加したくとも、仕事の都合で平日の研修には参加できない』と回答した会員のため、敢えて日曜日に実施されたが、参加者人数の点では「？」が付くものであった。しかし、従前の4支部・4名の発表では、質疑応答の時間が少なく物足りなさがあったことから2人にしぼり、その時間を確保するよう工夫がなされた。有意義な研修会となった

【研修会次第】

- ・開会司会：研修部会長 北野愛子
- ・開会挨拶：保護司会長 小西健之
- ・体験発表：岸裏 廣章・杉谷 睦生
- ・質疑応答：助言者 企画調整課長 倉谷 浩一
- ・閉会挨拶：副会長 西村 順子

と感じた。

以下に研修部会長の北野保護司に
お願いした研修報告を掲載します。

●発表①：保護観察中の再犯事件
について

最近増えてきた高齢者に対する処遇、そして私共が最も苦慮する再犯のケースを取り上げて発表いただきました。官民5団体の連携の結果、年金の請求・ゴミ屋敷状態の解消と家の改修、障害を持つ家族の行き先の決定が実現したという実に興味深いケースでした。

発表後の質疑応答では、社会資源の活用の仕方の実際が話合われ「ケ

ース」検証を深めることが出来たと思いました。

●発表②：自分の出来ることを

今日まで保護司として活動してきた中で、自分がどのように対応し何に励まされ、何を得たかをありのまま語られました。体験したいくつかのケースでの対応のポイント。保護司仲間との研修や親睦会への参加で多くの励ましや教訓を得て、やる気をもったかを具体的に語られ、又支部行事や保護司会の諸行事に参加

することの大切さを強調。なる程と聞かせていただきました。

『人は誰でもこける。いかに起き上がるかが大切。その人に合った起き上がり方を一緒に考え、寄り添いながら共に前進するのが保護司の仕事』『ありのままの自分をさらけ出し、先ず保護司が胸を開く。そして自分の出来ること精一杯する。担当が終了したら自分を褒めて即、思いを手放す』発表後会場からは多くの方が感銘を受けたとの共感と感謝の言葉が聞かれました。また、質疑応答では「面接に来てくれない対象者にどのような対応・工夫をしているのか」について参加者からも多くのアイデアを聞くことが出来ました。

日曜日にも拘わらず私達の自主研修のため助言者として出席いただきました倉谷企画調整課長より丁寧な講評・助言をいただき、最後は西村担当副会長の閉会の挨拶で2時間半に亘る長い研修を終えました。

当番の南支部さんありがとうございました。 研修部会長・北野 愛子